

# えんとこの歌

寝たきり歌人・遠藤 滋



激しくもわが扱ひ所探りきて

障害持つ身に「いのちにありがとう」

「えんとこ」は

遠藤滋のいるトコ。縁のあるトコ。

ありのままのいのちを生かし合いながら

生きる・・・トコ。



〈ドキュメンタリー映画〉伊勢真一 監督作品 2019年/カラー/96分/製作:いせフィルム <http://www.isefilm.com>

7月29日(月) 梅丘パークホール

Tel 03-5300-3220 (小田急線梅ヶ丘駅徒歩3分)

◆昼の部 13:30 から

映画と伊勢真一監督トーク

◆夜の部 19:00 から

映画とトーク&ライブ 遠藤滋さんと結・えんとこグループ

ライブ 谷ぐち順 菅原雄大 藤原亮

◆参加費 ◇当日:一般¥1600 シニア/障がいを持つ方¥1200 ◇前予約:一般¥1300 シニア/障がいを持つ方¥1000  
(小・中・高校生無料)



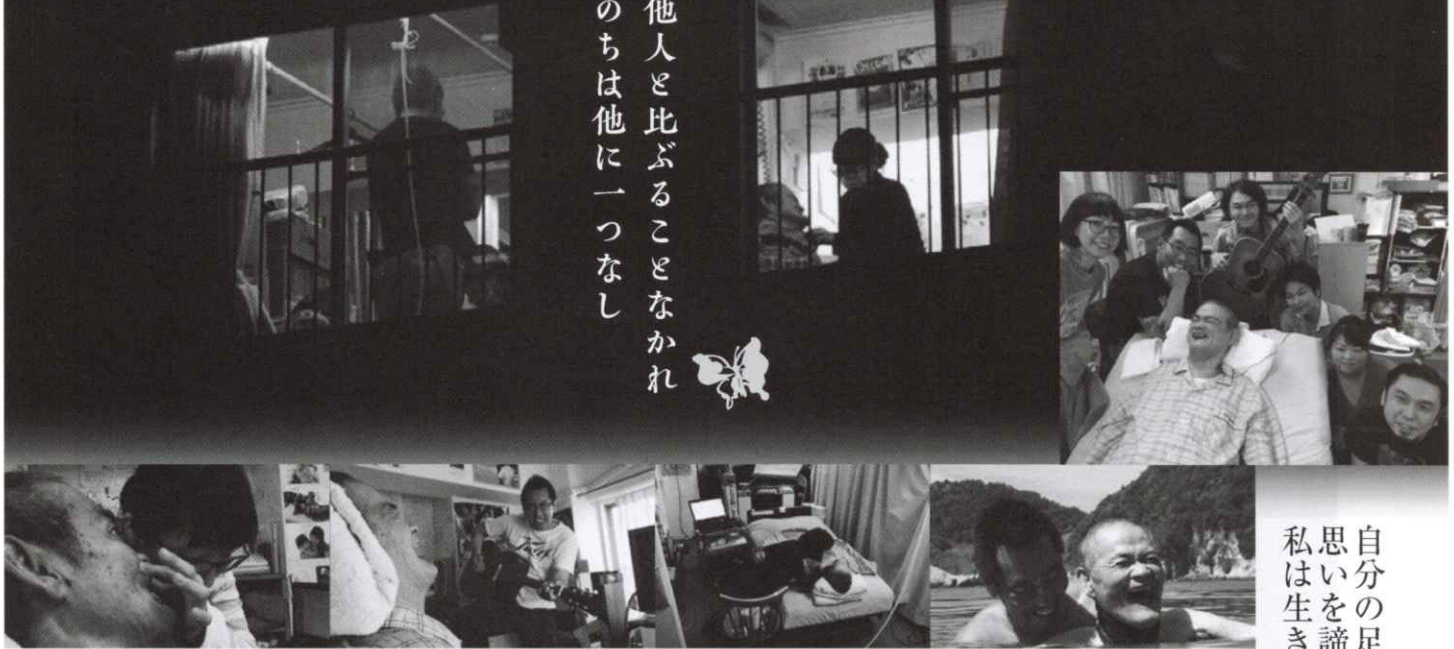
# えんとこの歌

寝たきり歌人・遠藤 滋



ベッドの上で歌が生まれる。  
遠藤滋と介助の若者たちとの触れ合い・・・  
25年に及ぶ相聞歌、『えんとこの歌』に  
耳を澄ませてほしい。

自らを他人と比ぶることなかれ  
同じいのちは他に一つなし



自分の足で歩こうという  
思いを諦めない遠藤のように  
私は生きようとしているだろうか

1999年に完成させた映画『えんとこ』は、脳性マヒで寝たきり生活を強いられながら介助者たちの力を借りて生きる学生時代の友人、遠藤滋の日々を3年間にわたって追ったドキュメンタリーだった。

《恐ろしき事件ならずや十九人 元職員に刺殺さるるは》

2016年、夏。神奈川県相模原市で起きた、障がい者大量殺傷事件を知ったとき、すぐに思い出したのは遠藤のことだった。無性に遠藤に逢いたくなり、「えんとこ」を再び訪れた。20年近くの時間を経て、遠藤の障がいは進行し、喋ることも、食べることも、困難になっていた。しかし一方で、50代後半から遠藤は短歌を詠むようになり、心の叫びを言葉に託す日々を送っていた。

《足熱し身体も熱し痛し苦し

かく叫びて今日も明けゆく》

ベッドに横たわりながら、進行する障がいの苦しみと歌われ、同時に70歳を越えて生き生きと人生を謳歌する喜びも歌われてきた。

《手も足も動かぬ身にいまさら

何をせむとや恋の告白》

遠藤の寝たきりの日々は35年。「えんとこ」にカメラが入り、ベッドサイドでただただ遠藤と介助者たちとの日々を記録しつつ25年あまりの歳月が流れた。その介助の日々は、心の交流のドキュメントでもあった。ありのままのいのちを生かし合いながら生きる・・・ということ。

(かんとく・伊勢真一)

出演——遠藤滋「結・えんとこ」介助者のみなさん  
短歌朗読——友部 正人  
撮影——石倉 隆二 宮田 八郎 安井 洋一郎  
録音——永肇 康弘 井上 久美子  
音響構成——米山 靖  
編集——尾尻 弘一  
テーマ曲——「不屈の民」 編曲 横内 丙午  
演奏——谷ぐち 順 菅原 雄大 藤原 亮  
宣伝デザイン——森岡 寛貴(ジオングラフィック) 遠藤 郁美  
上映デスク——鷲見 真弓 今井 亜矢子  
協力——伊勢 朋矢 矢吹寿秀 福島広明  
あけび短歌会 大津留 直  
制作協力——クロスフィット ハチプロダクション 一隅社  
上映協力——エーザイ株式会社  
企画製作——いせフィルム  
演出——伊勢 真一

## 遠藤 滋 (えんどう しげる)

1947年静岡生まれ。1歳の頃脳性マヒと診断される。障がいを引き受けながら、自ら「えんとこ」を組織し介助者たちの力を借りて自立生活を続けている。東京・世田谷のアパートの一室、「えんとこ」のベッドの上から、社会や自分自身を凝視するその眼差しで、50代から短歌を詠み始める。「えんとこ」は遠藤滋のいるところであり、縁のあるところ。いのちを生かし合う居場所である。著書「だから人間なんだ」他。

## 伊勢 真一 (いせ しんいち)

ドキュメンタリー映像作家。1949年東京生まれ。遠藤滋とは学生時代の友人である。『奈緒ちゃん』(1995年)、『えんとこ』(1999年)、『風のかたち』(2009年)、『大丈夫。』(2011年)、『妻の病』(2014年)、『ゆめのほとり』(2015年)、『いのちのかたち』(2016年)、『やさしくなあと』(2017年) 他のヒューマンドキュメンタリーを製作。本作は映画『えんとこ』から20年を経た続編である。

【お問合せ】いせフィルム [www.isefilm.com](http://www.isefilm.com)

〒150-0002 渋谷区渋谷1-9-4 トーカン渋谷キャステール406 (2018年4月より住所が変更になりました)  
TEL:03-3406-9455 FAX:03-3406-9460 E-mail:ise-film@rio.odn.ne.jp

優れたドキュメンタリー映画を観る会 Vol.35

## 『えんとこの歌』上映とトーク&ライブ -相模原事件から3年「共に生きる」ことを考えて-

◆主催：優れたドキュメンタリー映画を観る会 共催：いせフィルム

- ◆ 後援：世田谷区ボランティア協会／世田谷区手をつなぐ親の会／世田谷こどもいのちのネットワーク／市民運動いち／人の泉“Be”／自立の家／悠愉学舎／下高井戸商店振興組合／福島の子どもたちとともに世田谷の会／らくたとTUBO／岩本酒店／情熱空間／風を編む／あしたや共働企画／蕎麦処くりはら／映像女性学の会／日本大学文理学部社会科学科 後藤範章研究室／NPO法人SAHS／のんびり世田谷ネットワーク／マレット／さばのゆ／I女性会議・世田谷支部／

◆ 問い合わせ いせフィルム (03-3406-9455) 飯田 (080-3483-3811)